

閑上地区の仮設ハンプ設置による実証実験について

閑上地区については、商業施設への来訪者や、県道交差点の渋滞を避け地区内の道路を抜け道として通行する車両が多く、令和 7 年には、77 件の交通事故が発生している状況です。

このような状況を解決すべく、地元区長、町内会長をはじめ、学校や警察などの関係機関等で構成される「閑上地区交通安全検討委員会」にて、地区のゾーン 30 プラスの指定を目指し、検討を進めているところであり、その一環として、道路上に仮設のハンプを設置し、速度抑制効果等を検証するための実証実験を行います。

この中で、走行速度、通過交通量の調査や、段差の振動や騒音に関する住民アンケートを実施し、ハンプ設置の効果を検証する予定です。

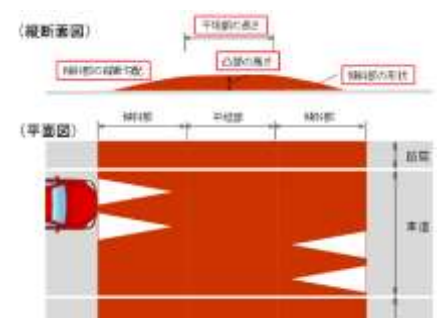
実証実験の結果をもとに、検討委員会にて、年内をめどに、閑上地区の安全対策実施内容を検討し、ゾーン 30 プラスの整備計画の取りまとめを行う予定です。

記

- ・ 仮設ハンプ設置箇所：名取市閑上西一丁目地内（あんどん松公園北側）
- ・ 実 証 実 験 期 間：令和 7 年 10 月 8 日～令和 7 年 10 月 17 日（10 日間）



仮設ハンプ設置状況



ハンプ概略図

出典：国総研資料第 952 号より

※ゾーン 30 プラスとは

最高速度 30km/h の区域規制（ゾーン 30）とハンプなどの物理的デバイスとの適切な組み合わせにより交通安全の向上を図る区域を「ゾーン 30 プラス」として設定し、道路管理者と警察が連携しながら整備を進めること

【担当】名取市建設部土木課

遠藤・種市 TEL：022-724-7126

※不在の場合は折り返しご連絡します。